

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和4年1～3月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	61事業所
3. 回答率	48.8%
4. 業種別内訳	
製造業	12事業所
建設業	4事業所
卸売業	4事業所
小売業	27事業所
サービス業	14事業所
合計	61事業所

5. 実施時期

令和4年 3月～5月

6. 調査対象期間

令和4年 1月から3月（第4四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

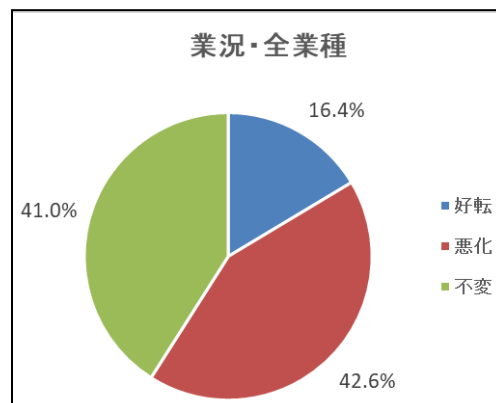
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和3年1月～3月）のDI値は▲26.2ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.4%、悪化したと回答した事業所が42.6%、変わらないと回答した事業所は41.0%だった。



令和3年1～3月の前年同期比について、令和4年1月より全国的に新型コロナウイルス感染症の感染者数が拡大したことや、2月24日よりロシアによるウクライナへの軍事侵攻によって、国際情勢の悪化等を理由に景況が悪化したと回答した事業者は、製造業を除く業種でDI値はマイナスの値となった。

また、上記の要因による「仕入価格が上昇した事による収益・採算の悪化」を回答した事業が好転したとの意見もあったが、多数あった。

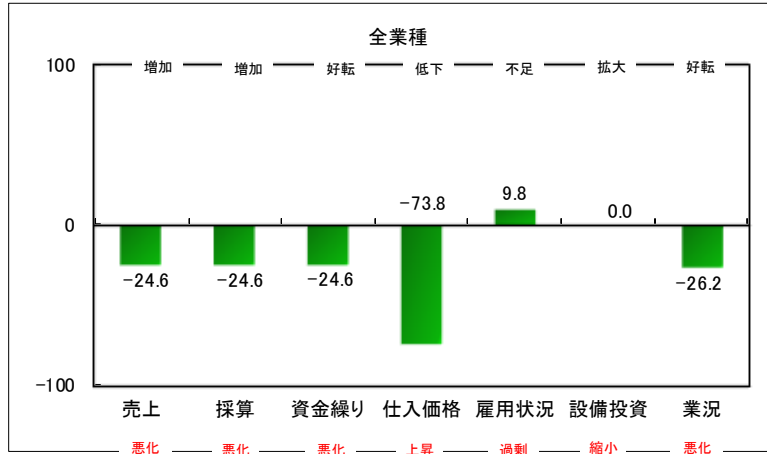
	R3. 1～3 前年同期比	R3. 10～12 前期比	R4. 4～6 見通し
全業種	▲26.2	▲31.1	▲11.5
製造業	0.0	0.0	0.0
建設業	▲25.0	▲25.0	▲25.0
卸売業	▲75.0	▲75.0	▲50.0
小売業	▲37.0	▲44.4	▲22.2
サービス業	▲14.3	▲21.4	14.3

来期見通し（令和4年1～3月）のDI値については、感染者数が落ち着き、イベント再開等による経営活動の好転を期待する意見はあるものの、以前のとして1コロナウイルスの影響および国際情勢の悪化による材料価格の上昇で経費増加・利益率の悪化、先行きが不透明であると意見も多数あった。

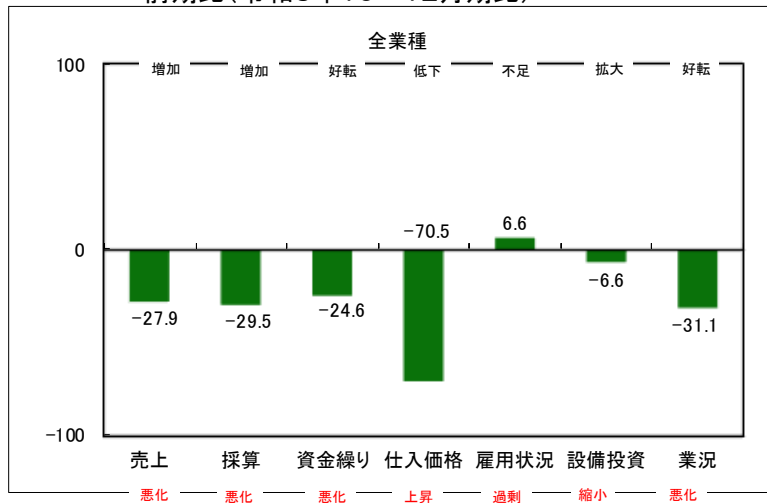
市内景気動向

全業種

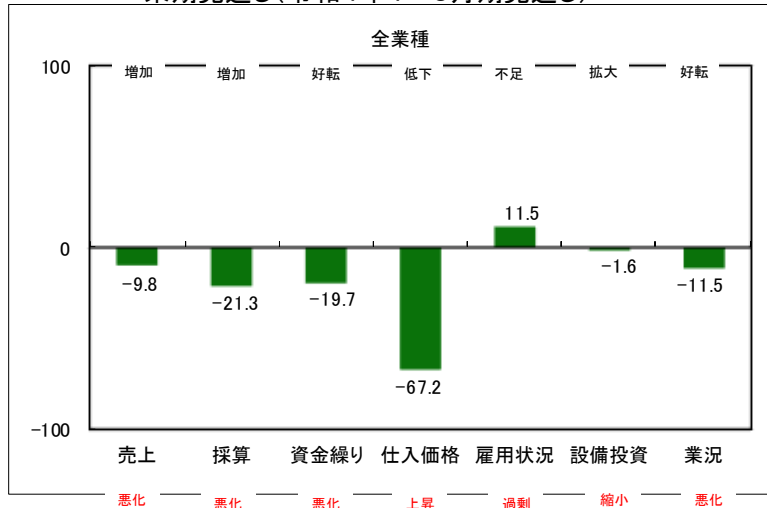
前年同期比(令和3年1～3月期比)



前期比(令和3年10～12月期比)



来期見通し(令和4年4～6月期見通し)

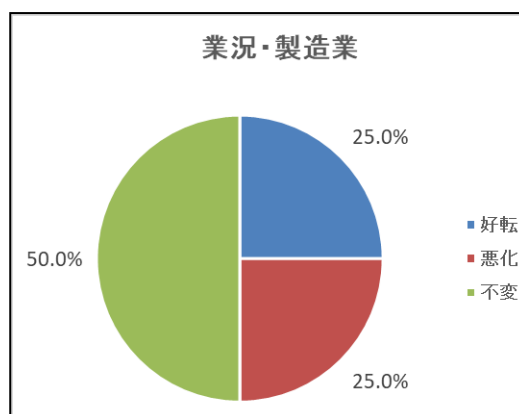


2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、25. 0%、
悪化したと回答した事業所が25. 0%、
変わらないと回答した事業所が50. 0%だった。

来期見通しD I 値についても0. 0ポイントで、
不変の見通しとなっている。



○主な意見

【精密機械製造業】

・「緩やかな回復傾向であるが好転はしなかった。」

【鉄鋼業】

・「一時的な業況の回復で材料費の高騰などの不安材料が多数存在するので先行きは不透明。」

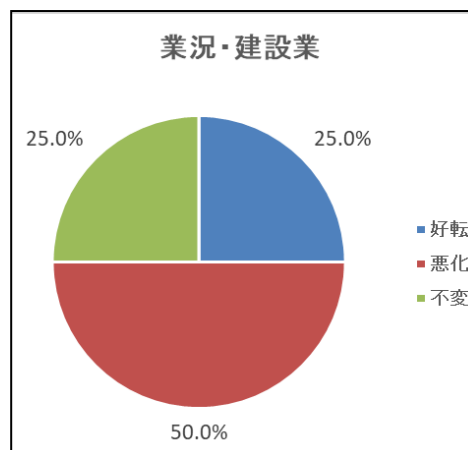
【精密機械加工業】

・「新型コロナウイルスと国際情勢の悪化により、仕入価格が上昇した。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲25. 0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25. 0%、
悪化したと回答した事業所は50. 0%、
変わらないと回答した事業所は25. 0%だった。

来期見通しのD I 値は、▲25. 0ポイントで、悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【土木建築工事業】

・「工事受注高を維持に取り組み、売上は不変であった。」

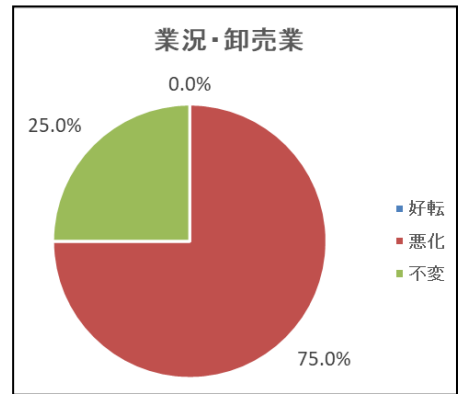
【土木・管工事業】

・「材料価格の高騰と材料入荷遅れによる事業への影響が出ている。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲75.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が75.0%、
変わらないと回答した事業所は25.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲50.0ポイントで、
悪化する見通しとなっている。



○主な意見

【業務用食料品卸売】

・「飲食業の休業が多く、売上が減少した。」

【木材・住宅機器卸売業】

・「市内での建築業界需要動向が不透明であり、売上は減少の見込み。」

【建築設備資材卸】

・「売上は増加しているが、単価での上昇での増加であり、採算が悪化している。」

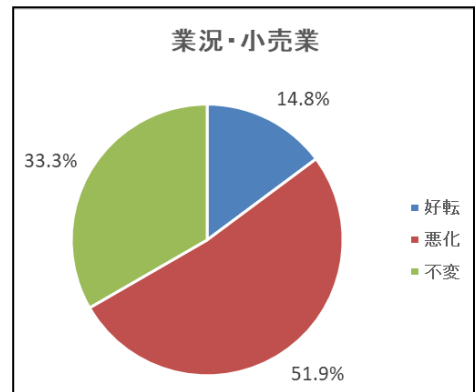
【事務用品・事務機器販売】

・「4月より、取引各社が値上げし、今後も値上げが続く状況であると考える。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲37.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は14.8%、
悪化したと回答した事業所は51.9%、
変わらないと回答した事業所は33.3%だった。

来期の見通しD I 値は、▲22.2ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【家電小売業】

・「材料等が今までに経験したことがないような上がり幅になっている。」

【飲食業】

・「まん延防止が空けてすぐはお客様も増えたが感染者が増え出したあたりからキャンセルなども増えて来客も減少」

【衣料小売業】

・「市場に新規参入業者があり、競争が激しくなった。」

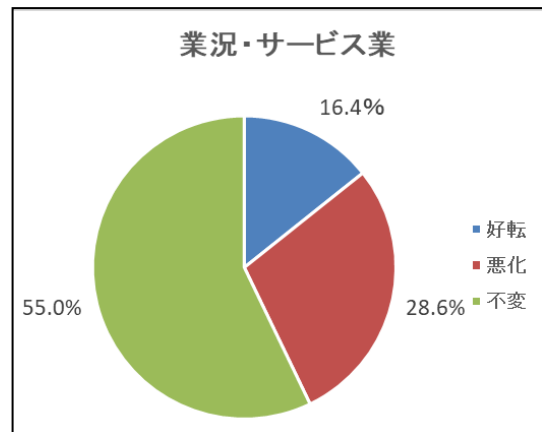
【自動車販売業】

・「コロナウイルスおよびウクライナ侵攻の影響で物価上昇し、個人消費が減少した。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲14.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.4%、
悪化したと回答した事業所は28.6%、
変わらないと回答した事業所は55.0%だった。

来期見通しD I 値は、14.3ポイントで、好転の
見通しとなっている。



○主な意見

【理容業】

・「売上が微増であるが、未だにコロナウィルスの影響により、客足が少ないと感じる。」

【美容業】

・「婚礼事業において主な取引先であるホテルが事業の撤退を表明した為、売上が減少した。」

【衣服裁縫修理業】

・「物販・サービス業はかなり厳しい状態であると感じる。消費促進のプレミアム商品券に期待しています。」

【美容業】

・「今年は成人式が行われ、大きな変化はなかったが、2月はかなり悪化した。」

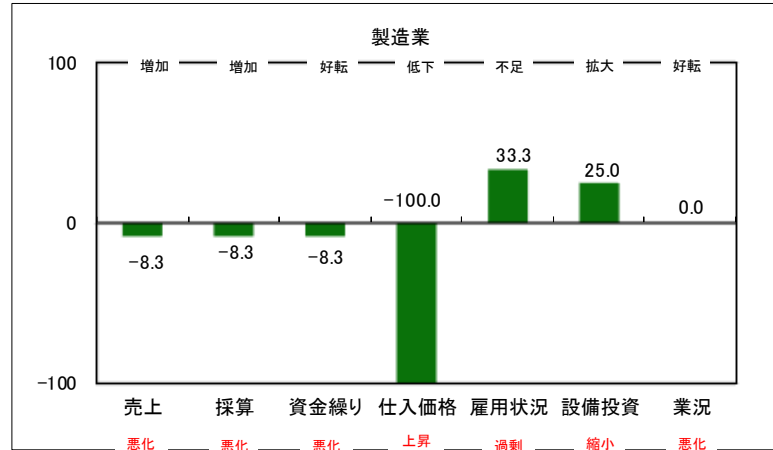
【エステ業】

・「販売方法の創意工夫に取り組んでいたが、スタッフの退職による人手不足に陥る。また商品値上げを行った事で売上が減少した。」

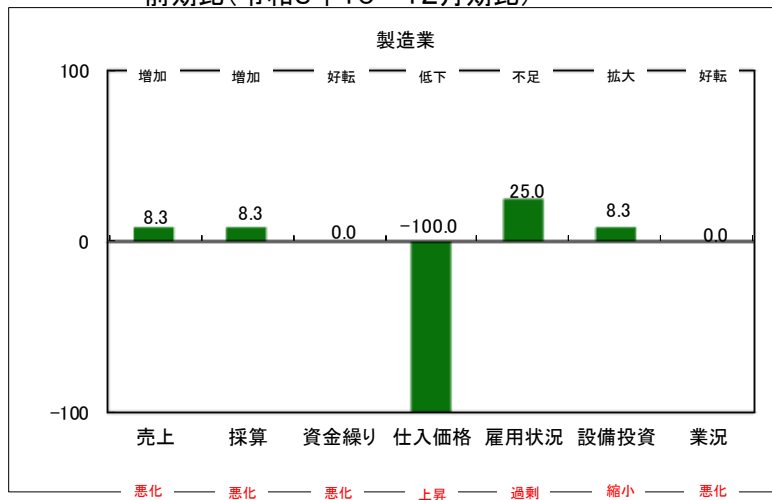
業種別景気動向

製造業

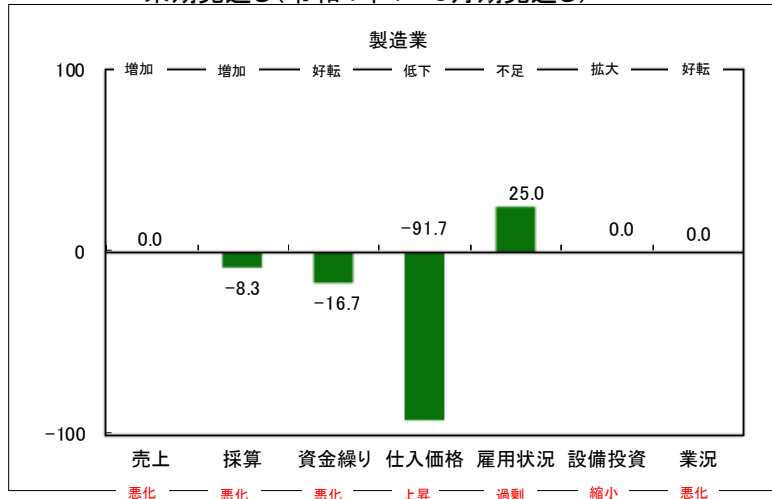
前年同期比(令和3年1~3月期比)



前期比(令和3年10~12月期比)



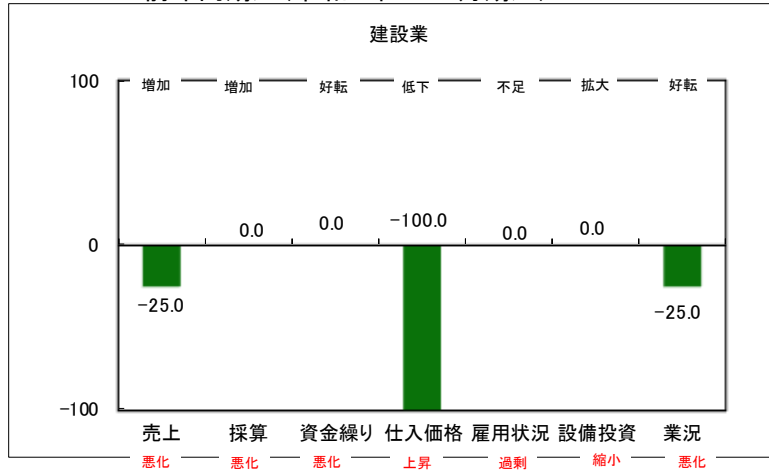
来期見通し(令和4年4~6月期見通し)



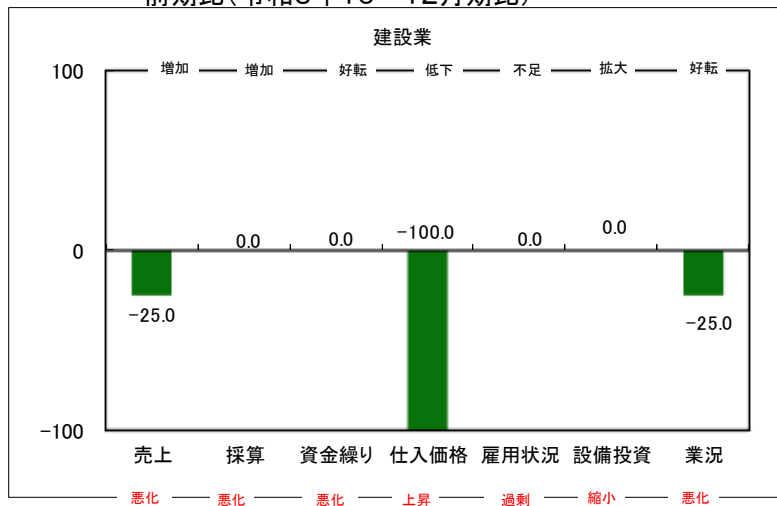
業種別景気動向

建設業

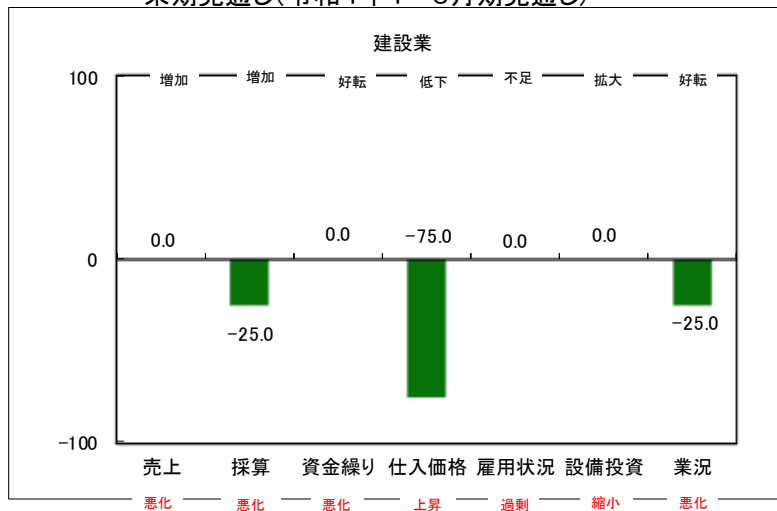
前年同期比(令和3年1~3月期比)



前期比(令和3年10~12月期比)



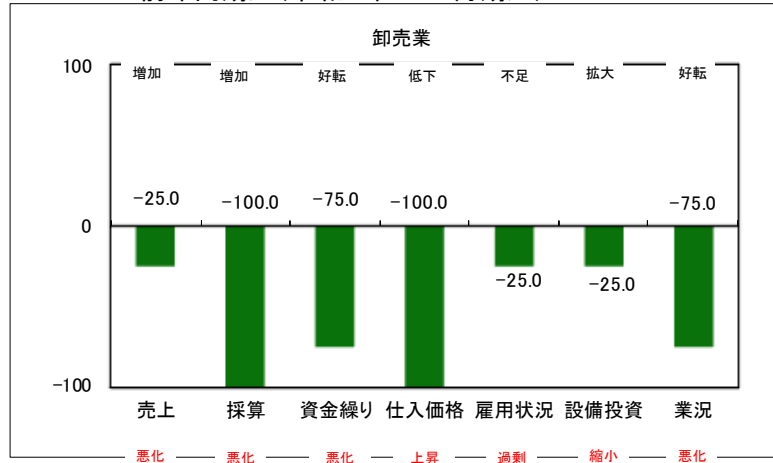
来期見通し(令和4年4~6月期見通し)



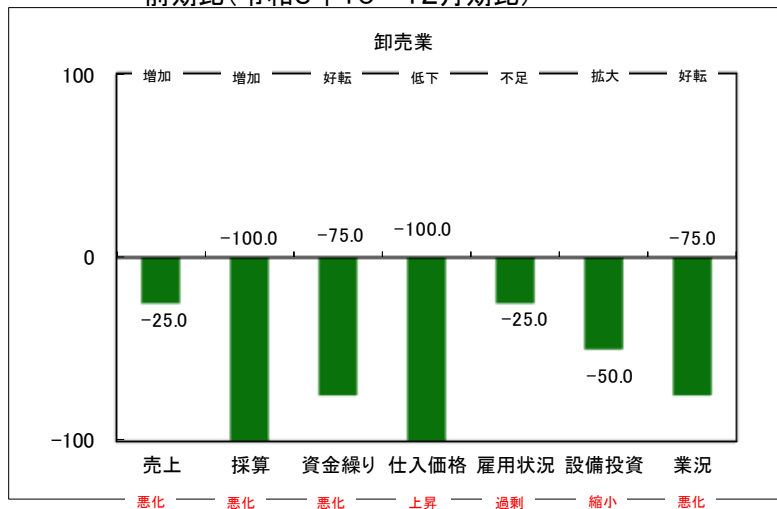
業種別景気動向

卸売業

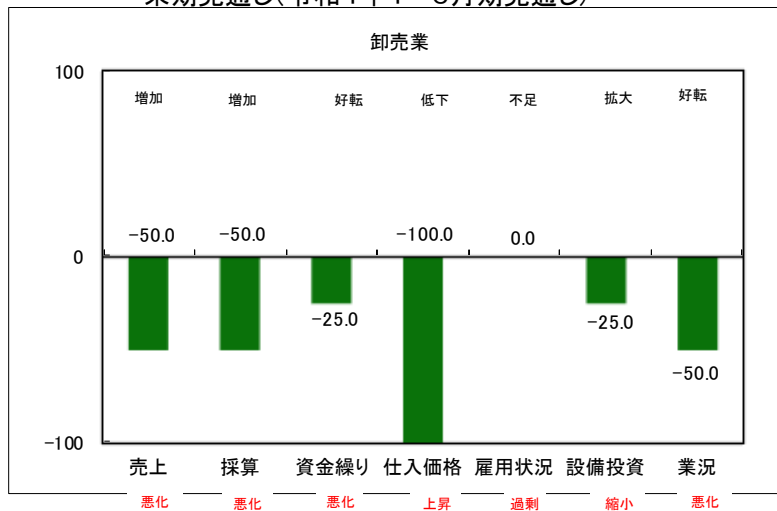
前年同期比(令和3年1~3月期比)



前期比(令和3年10~12月期比)



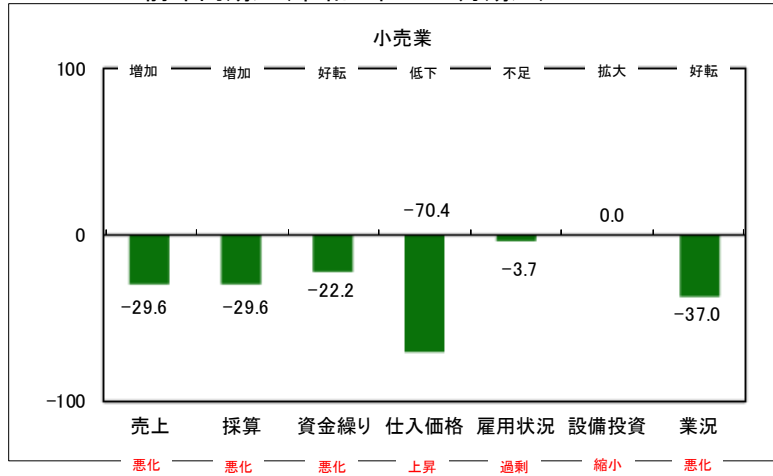
来期見通し(令和4年4~6月期見通し)



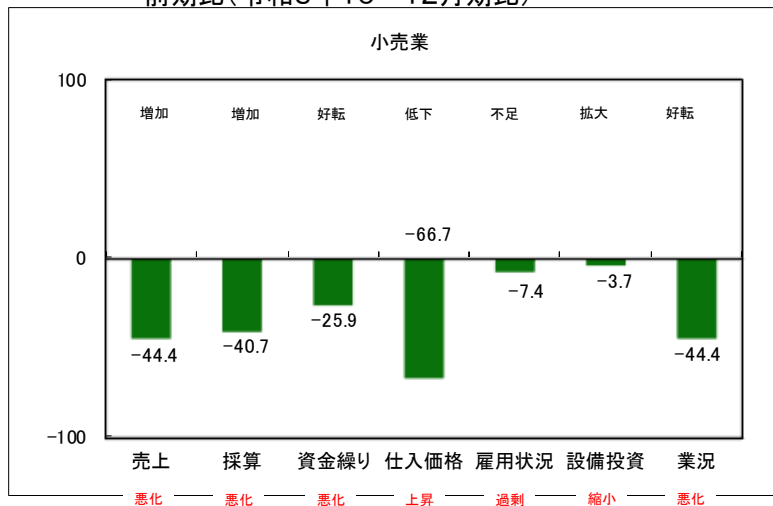
業種別景気動向

小売業

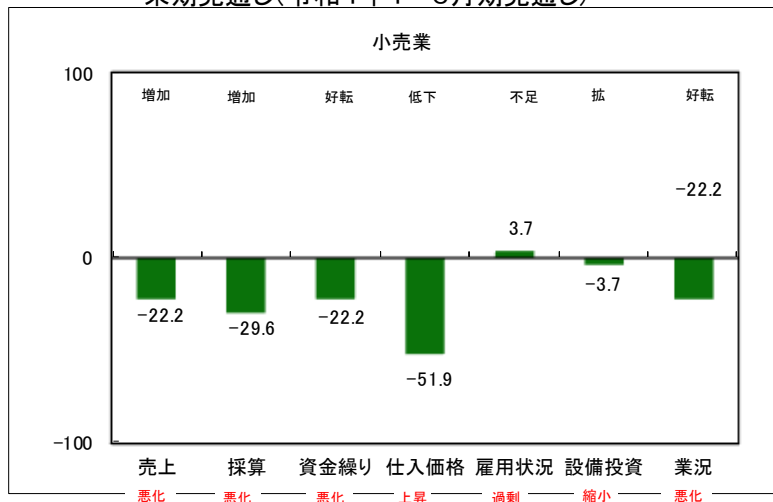
前年同期比(令和3年1~3月期比)



前期比(令和3年10~12月期比)



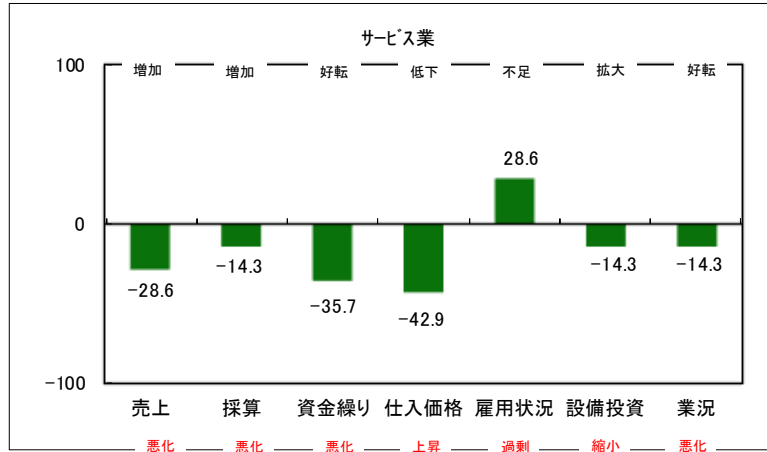
来期見通し(令和4年4~6月期見通し)



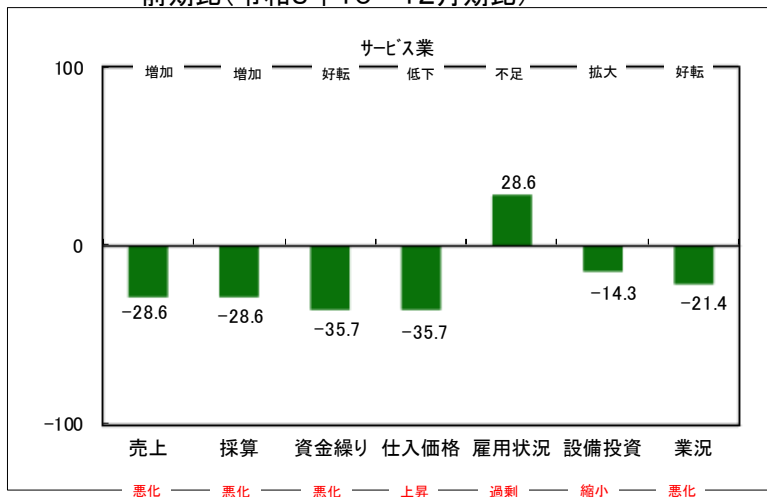
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和3年1~3月期比)



前期比(令和3年10~12月期比)



来期見通し(令和4年4~6月期見通し)

